

唐竹小学校跡施設活用基本方針

2019年1月

豊明市

目次

1	はじめに	1 頁
2	活用の方向性	1 頁
3	導入する機能の考え方	2 頁
4	跡施設のコンセプト	2 頁
5	具体的な導入機能	4 頁
6	今後のスケジュール	6 頁

1 はじめに

本市では、2017年9月19日付けで「豊明市立双峰小学校及び唐竹小学校のよりよい教育環境を実現するための基本方針」を策定し、双峰小学校と唐竹小学校を一つにして、2021年4月に現双峰小学校の場所に新設校をつくることにしました。また、一方の唐竹小学校の跡施設は、「市の公共施設として維持し、子育て関係の施設を中心に複合施設として利用するとともに、地域に意見を聞き、地域の拠点や災害時の避難所としても活用する」ため、これまで市役所庁内の協議や学区住民のみなさんとの意見交換会、市民説明会などを実施してまいりました。これらの検討をふまえて、「唐竹小学校跡施設活用基本方針」を次のとおり策定しました。

2 活用の方向性

(1) 複合的な活用

学校跡施設は地域の財産であるとともに、市民共有の貴重な財産でもあります。単独の施設機能として利用するばかりではなく、多くの市民が利用できるように多様な機能を持たせ、複合的に施設を活用します。

また、施設に複数の機能を持たせることによって、高齢者や子ども、子育て世代の市民が集まり、世代を超えた交流が生まれるような活用を図ります。

(2) 地域コミュニティの場としての活用

学校は、地域住民の代々の学びの場として、地域との関わりも深く、核となってきた施設であったことから、地域住民にとって、親しみやすく、気軽に集まれるような、地域コミュニティや地域活動を支える中心的な場として活用します。

(3) 中長期的な視野に立った活用

中長期的な視野に立ち、新たに生じる行政需要への対応など多様化、高度化する市民ニーズを考慮して、将来を見通した活用とします。

(4) 既存の校舎等の活用

現在の校舎及び体育館は、概ね40年を経過した建物ですが、耐震補強工事等は完了しており、引き続き活用が可能です。

そのため、現在の校舎等を活かしながら、施設のバリアフリー化などの改修工事を行ったうえで、既存の校舎等を活用します。

3 導入する機能の考え方

(1) 従前から導入されている行政機能

唐竹小学校施設において、従前から実施され今後も市が必要と認める機能については、引き続き導入します。

(2) 今後必要となる行政需要に対応する機能

今後新たに必要となる行政需要に対して、中長期的な視点で、重要性・緊急性を鑑みて、現在行っている事業の拡充等により喫緊の課題解決が可能な機能を導入します。

(3) 上記(1)(2)との互換性がある機能

上記(1)(2)と併設して実施することで相互に機能向上すると考えられる機能を導入します。また、学校であったことの記憶を残す上からも学習機能についても導入します。

(4) 地域コミュニティを形成する機能

地域コミュニティや地域活動を支え、市民交流を促すことができる機能を導入します。

(5) 市民の利便性が高まる機能

市民、関係者、庁内等の意見のうち、公共性が高く、多くの利用者が見込め、将来に渡って必要度が高く、継続性が認められる機能を導入します。

4 跡施設のコンセプト

学校跡施設を活用した

『交流・まなび・あそび・子育て支援拠点』

の整備

—高齢者や子どもたち、子育て世代など幅広い方の交流拠点、地域の憩いの場として、親しまれるとともに、みんなが安心して、楽しく、まなべる・あそべる拠点を目指します—

跡施設コンセプト 『交流・まなび・あそび・子育て支援拠点』

多世代交流・共生拠点

まなび拠点

あそび拠点

子育てワンストップ支援拠点

市民交流センター

多世代交流拠点

学習室、歴史民俗資料室

屋内外あそび場

児童発達支援センター

子育て支援センター



プール

・あそび拠点

・屋外遊戯場 (児童発達支援センター専用)

体育館

・あそび拠点

- ・一般開放 (バレーボール・卓球等)
- ・各種イベント等
- ・(災害時) 避難所

グラウンド

・あそび拠点

- ・一般開放 (野球等)
- ・屋外遊具等

5 具体的な導入機能

(1) 子育て支援・福祉機能

①児童発達支援センター

障がいのある児童を通所させ、日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を行う「児童発達支援センター」を整備します。(どんぐり学園を移転します。)

【主な整備内容】指導訓練室、言語訓練室、屋内遊戯室、事務室、相談室、(すべて専有施設)調理室、医務室、静養室、トイレ、屋外遊戯場 など

②子育て支援センター

妊婦や子育て期の親の交流会、仲間づくり、情報提供、子育て相談、イベントなどを実施する「子育て支援センター」を整備します。

(内山保育園併設『すまいる』を移転します。)

【主な整備内容】事務室、相談室、活動室、屋内遊戯室 など

③その他子育て支援施設

その他子育て世代が子どもとゆったり過ごせる交流スペースやプレイルームなどを整備します。

【主な整備内容】子育て世代交流スペース、屋内あそび場 など

④福祉相談窓口

障がいのある方、自宅にひきこもりがちで社会とのつながりが希薄な方及びそのご家族や関係者が、安心して生活し続けることができるよう、相談支援を行います。

【主な整備内容】事務室(共用)、相談室(共用)

(2) 地域交流・中高生世代交流機能

①市民交流センター

地域活動の拠点となる「市民交流センター」を整備します。

【主な整備内容】事務室(共用)、活動室(共用)

②おたがいさまセンター

市民の生活のちょっとした困りごとをお互いに支え合う『ちやっと』の拠点として活用します。

【主な整備内容】事務室(共用)

③中高生世代交流施設

ダンス、音楽活動、勉強など、中高生が楽しく集まれる場を整備します。

【主な整備内容】音楽・ダンススタジオ、学習室、中高生世代交流スペース

④その他交流施設

地域の様々な人たちがゆるやかに集まれる場を整備します。

【主な整備内容】多世代交流スペース

(3) 文化振興・生涯学習・スポーツ機能

①歴史民俗資料室

文化遺産の継承を図るため、市内の歴史資料や伝統的遺産を集約し、市民が身近に郷土文化財などにふれることができる「歴史民俗資料室」をリニューアルします。

【主な整備内容】市史編纂室、展示室、収蔵室

②生涯学習施設

市民の方が能力を発揮できる場、講座を通じて人がつながり、誰もが楽しく学べる生涯学習の場を整備します。

【主な整備内容】活動室、フリー（&展示）スペース、調理室

③その他学習施設

塾に通っていない中学生を対象とした「どよう塾」や日本語初期指導が必要な外国籍の子どもたちを対象とした「プレクラス」を実施する場を整備します。

【主な整備内容】学習室

④スポーツ施設

地域の方が気軽にスポーツに親しめるよう、地域開放型の体育館やグラウンドの活用を図ります。

(4) 地域防災機能

①防災備蓄倉庫

災害時において地域の方の生活を支援するため、救援備蓄物資及び防災資機材の備蓄場所として引き続き活用します。

②避難所（体育館）、一時避難場所（グラウンド）

避難場所である体育館と、一時避難場所であるグラウンドを災害時には引き続き利用できるようにします。

(5) その他

①エレベーター

多世代の方が利用できるよう、エレベーターを整備します

②駐車場

来館者、職員用として駐車場を整備します。

③駐輪場

自転車でも多くの方が来館できるよう駐輪場を整備します。

④メモリアルスペース

新設校の開校に伴い唐竹小学校と双峰小学校の両校の思い出となる歴史物や記念物を展示できるスペースを整備します。

6 今後のスケジュール

(1) スケジュール（予定）

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
内容	設計に向けた協議	詳細設計	改修工事	供用開始

(2) 今後の進め方

今後、本方針をもとに、利用面や管理・運営面について、利用や管理・運営が想定される関係者（市民、団体等）とともに、設計に向けた協議をしていきます。

なお、今後協議をしていく中で、以下の場合には、方針を変更することがあります。

- ①建築基準法や消防法など法令上の問題が生じたとき
- ②学校施設の用途変更など財産処分手続き上の問題が生じたとき
- ③その他、費用対効果が図れるよりよい改修方策が明らかになったとき

以上のように、唐竹小学校跡施設を有効に活用することで、『交流・まなび・あそび・子育て支援拠点』を整備していきます。